

九月定例会一般質問(抜粋)



渡辺道仁議員

ごみ排出が困難な方へのごみ出し支援について、個別収集を必要としている対象者数は。また、個別収集に対する考え方と対応について伺う。

佐藤市長 本市において個別収集の必要性が見込まれる世帯数は、二百世帯程度と推計している。個別収集は安否確認や地域の美化向上のためにも有効な施策の一つであると考えており、

検討を進めていく。

その他の質問項目

市長の政治姿勢について
平成23年度中期財政計画について
総合的な管理事務所への体制の確立について
避難所における表示板及び案内板の設置について
小学校を含めた避難所となる施設に太陽光発電と蓄電池を設置することについて
西部地域における活性化のための拠点づくりにつ

いて

建設行政について
交差点のバリアフリーについて
住宅政策について
教育行政について
学校給食の安全確保について
いじめに対する取組について
暴力行為に対する取組について
第24回全国スポーツ・レクリエーション祭の開催について

九月定例会一般質問(抜粋)



増淵一基議員

市内に点在しているスポーツ施設をつなぐ公共交通システムの構築は、施設の効率的運用や交通混雑の解消だけでなく、県外・市外からの観戦者・サポーターの利便にも供することができ、市のイメージアップにも繋がる。市当局の考え方を伺う。

佐藤市長 本市が「生涯にわたるスポーツ活動」や「プロスポーツと連携したまち

スポーツ施設をつなぐ公共交通システムの構築を

づくり」を推進していくためには、施設を利用する市民はもちろんのこと、観戦者やサポーターの皆様も含めて、施設にスムーズにアクセスできる環境の整備が重要。公共交通の利用促進とともに、バス路線の充実・強化を図るなど、スポーツ施設への交通アクセスの利便性向上について検討していく。

その他の質問項目

市長の政治姿勢について
第5次総合計画について

認定こども園について

宇都宮准看護高等専修学校について
「自転車のまち」について
ジャパンカップについて
自転車専用レーンの整備について
震災による本市農業への影響について
教育行政について
「小中一貫教育と地域学校園」の全市実施に向けた市民理解について
部活動の推進について

宇都宮市議会ホームページで、一般質問の様子を本会議録画映像から見る事ができます。

放射能汚染への対応

放射性物質の人体への影響が、社会的問題となってくる中で、わが会派もどのように取り組むかについて、様々な議論を行い、以下のような取り組みを行いました。

6月30日に、市内の公共施設の放射線量の調査を実施。

宇都宮市冒険活動センター、松田新田浄水場、城址公園の放射線量の測定を簡易測定機器を用いて行いました。いずれも基準値の範囲内でした。しかしながら、側溝や集水桝などは比較的数値は高めでした。

7月1日(6月議会最終日)に、わが会派が提案して、議員案を国に提出。

「福島県以外の学校・幼稚園・保育所等における放射線量の安全基準値の早期設定と測定地点の増設を求める意見書」同日、市議会に「災害対策調査特別委員会」を設置。



7月7日に各党派有志で、専門家を招いて研修会を実施。

- ・放射線に関する基礎知識
- ・福島第一原子力発電所の現状

取り組みの成果

県のモニタリングポストや、市域を5ブロックに分けて、14箇所の定点ポイント及び一部公園施設等を測定・公表する。市内の全小中学校(適応支援教室を含む)・特別支援学校・保育所・児童館及び一部認可外保育施設に計264台の測定器を配備。各施設ごとに設定した測定箇所1箇所については、測定結果を市のホームページに掲載するほか、子どもが日常的に活動する場所(遊具・砂場など)についても各学校等が必要に応じて測定し、保護者や施設利用者等に情報提供する。保護者の安心感を高めるため、小中学校・幼稚園・保育所等で10月から給食食材に係る放射性物質の自主検査を実施し、検査結果を公表する。当面は民間検査機関に依頼して行うが、受入可能数に限界があることから、来年1月ごろを目途に簡易測定器を整備。

市民の声

市民の方から本紙をはじめとする当会の活動等に関する数多くのご意見・ご要望等が寄せられています。下記にその一部をご紹介します。

- ・住んでいるところの近くの小学校に通うことが簡単にできるようにしてもらいたい。自分の子供は通

- えるようになったが、手続きが大変だった。
- ・ジャパンカップのクリテリウムのコースを子供がレース前に走れるといいと思う。
- ・早くLRTを通してもらいたい。いろいろな意見があると思うが、宇都宮市の発展のためには不可欠である。
- ・被災したスポーツ施設や文化財などを早く直してもらいたい。

- ・中心部の賑わいを昔のように取り戻してほしい。
- ・蒲生君平没後200年に当たる平成25年まで、あと2年に迫ってきた。顕彰のための事業を実施してもらいたい。
- ・放射線量測定器を市で購入して、いろいろなところを測ってもらいたい。
- ・学校給食も安心して食べられるような検査もしてもらいたい。

- ・宇都宮工業高校の跡地を早くなんとかできないか。県と上手に調整をして、宇都宮市のためになるような利用をしてもらいたい。

この他にも、国政への不満、市の行政への不満などが多数寄せられました。今後とも、多くのご意見・ご要望をお寄せください。